



成果指標				
成果指標	下水道使用料金収入済額÷調定額＝徴収率(現年度)			
指標設定の考え方	前年度徴収率と比較し、向上させることで安定した事業執行を図ることができる。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	
目標	100	100	0	0
実績	99.72	99.62	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	特定環境保全公共下水道事業に伴う一般管理経費であるため、引続き必要と思われる。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	現年度分の使用料の徴収率は99.62%となり、水道課と連携した給水停止措置が有効である。滞納者が出ないよう期間を定め、未納者に対し納付督促に努める必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価  
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題